

## 『赤い鳥・木村文助』コーナー

- ・「赤い鳥」(復刻版)195冊
- ・「赤い鳥」童謡9冊
- ・「綴方生活」(合本復刻版)15冊
- ・文助編著書のコピー本
- ・「鈴木三重吉集」7冊
- ・「つづり方特選の作品集」3冊
- ・「北海道の児童の綴り方名作集」  
(久米道彦)
- ・「村の綴り方 木村文助の生涯」  
(畠山義郎)
- ・「教育広報おおの」及び「北斗市教育  
広報きらめき」
- ・「北海道生れの作家」(木村不二男)
- ・写真・大野小学校の児童及び教師
- ・「講演集録」(荒木恵吾、岡屋昭雄、  
平中忠信)
- ・「木村文助研究」通信(文保研)
- ・森町図書館目録



北斗市郷土資料館  
常設展示場「コーナー」

## 文助ゆかりの地

- 勤務 大野尋常高等小学校  
(大野村西上町10番地)  
現；北斗市大野小学校  
(北斗市本町200番地)

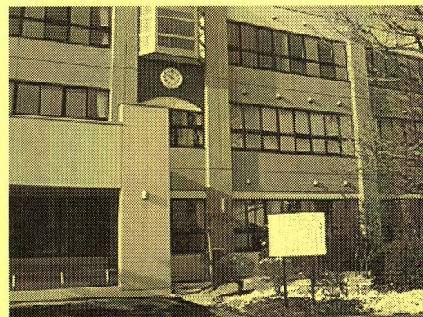
1928年(昭和3)新校舎は、文助の構想も盛られ完成した。現在の校舎はそれから三代目である。

- 居宅 学校に隣接したが現在なく説明板が建つのみである。

■常設展示 1980年(昭和55)大野町公民館を転用し郷土資料室にした。2000年(平成12)「赤い鳥・木村文助」コーナーを設けた。

現在は北斗市郷土資料館となる。

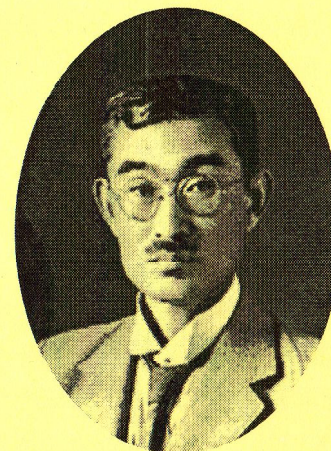
- 大野小学校、郷土資料館、居宅跡(説明板)、共に大野地区市街地にあり大野小校門に入る。



現在の大野小学校

## 木村文助の足跡

生活綴り方指導の先駆者



方言を交え素直な大野の  
綴り方は全国に読まれた

大野文化財保護研究会

(略称；文保研・ぶんぽけん)

2009年5月